


# 下妻市(しもつまし)

	市章等 〒 304-8501 〈住所〉 下妻市本城町2-22 〈TEL〉 0296-43-2111 〈FAX〉 0296-43-4214 〈HP〉 http://www.city.shimotsuma.lg.jp 〈e-mail〉 info@city.shimotsuma.lg.jp	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業
	類型 I-O 地方公共団体コード 082104 面積 80.88 km <sup>2</sup>	退職手当 消防賞 消防員 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 税滞納整理 消防救急 火葬場 ごみ処理 尿処理	法適用(上水道) 法非適用(公共下水道宅造)	

## <行政組織>

### ①長等(H22. 5. 1現在)

長	いなば もとはる 稲葉 本治 (64歳)	任期	H26.4.13
		就任回数	2期目
副市長	欠員		

### ②議会(H22. 5. 1現在)

議長	谷田部 久男	副議長	菊池 博
任期	H23.12.20	条例定数	24名
		現議員数	24名
党派別	公明2 共産2 社民1 無19		

### ③職員数(H21. 4. 1現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
345	294	245	51
一般行政職の平均給料月額	3,313 百円	ラスパイレス指数 97.5	地域手当補正後ラス指数 97.5
全職員数の推移	H18. 4. 1	H19. 4. 1	H20. 4. 1
	364	351	348

### ④機構図(H22. 4. 1現在)

<<市長>> -- <<副市長>> --  
 総務部 一秘書課, 総務課, 人事課, 市民安全課  
 企画財務部 一企画課, 財政課, 税務課, 収納課  
 市民環境部 一市民課, 生活環境課, ぐらしの窓口課  
 保健福祉部 一保険年金課, 介護保険課, 保健センター, 福祉事務所  
 経済部 一農政課, 農地整備課, 商工観光課  
 建設部 一建設課, 都市整備課, 下水道課  
 教育部 一学校教育課, 指導課, 生涯学習課, スポーツ振興課, 図書館, 公民館  
 <<会計管理者>> 一会計課  
 <<水道事業管理者>> 一水道事業所  
  
 <<議会>>  
 議会事務局  
 <<行政委員会>>  
 選挙管理委員会・監査委員・公平委員会  
 固定資産評価審査委員会事務局  
 農業委員会事務局

## <概要>

### ①沿革

昭和29年4月1日 編入 大宝村 騰波ノ江村
昭和29年6月1日 編入(市制施行) 上妻村 総上村 豊加美村 高道祖村
平成18年1月1日 編入 千代川村

### ②地勢・風土等

概ね平坦な地形で比較的肥沃な土地で形成されており、中央に砂沼、東に小貝川、西に鬼怒川と水資源が豊富で、自然に恵まれています。桜と釣りの名所として知られる砂沼は市民の憩いの場となっており、小貝川と鬼怒川沿いに整備された公園では年間を通し多数のイベントが開催され、多くの人で賑わいます。また、国道125号線と国道294号線とが交わる交通の要衝に位置し、古くから県西地域の中心都市として発展してきました。東京から60km圏内にあり、筑波研究学園都市に隣接している利便性から、現在は首都圏の一翼を担う地域として期待されています。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (H22. 4. 1)	
	H7	H12	H17		
人口	男	22,855	23,308	23,127	22,680
	女	22,611	23,236	23,308	22,625
	合計	45,466	46,544	46,435	45,305
世帯数	12,951	14,059	14,790	15,261	

### ④有権者数(22. 3. 2現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 21.8%
	18,068	18,136	36,204	

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成19年度)

市町村内総生産	1,593 億円	就業者1人当り	7,272 千円
住民所得	1,152 億円	人口1人当り	2,504 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(H19年度)		就業人口(H17国調)	
第1次	5,361	3.4%	1,838	7.6%
第2次	52,904	33.2%	9,028	37.5%
第3次	104,525	65.6%	12,914	53.6%
総額・総数	159,325	—	24,072	—

### ③農業・工業・商業

農業 (H17. 2. 1)	農家数	農業就業人口	農業産出額 (H18.1.1~12.31)
	2,734	1,518	9,780
製造業 (H20. 12. 31)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H20.1.1~12.31)
	177	4,588	119,429
卸・小売業 (H19. 6. 1)	商店数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	600	3,717	93,635

### ④特産物

梨 豚肉加工品 米(コシヒカリ) 千石きゅうり 大玉すいか メロン
--------------------------------------

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	H19決算	H20決算	増減率
歳入	14,603,316	14,699,559	0.7
歳出	14,010,837	14,241,242	1.6
形式収支	592,479	458,317	-
実質収支	575,837	419,484	-
単年度収支	43,777	△ 156,353	-
実質単年度収支	△ 22,664	△ 131,887	-

②主な歳入・歳出(平成20年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	14,700	-	96	0.7
地方税	5,430	36.9	13	0.2
地方交付税	3,681	25.0	△ 62	△ 1.6
国庫支出金	844	5.7	△ 146	△ 14.7
地方債	1,596	10.9	443	38.4
うち臨財債	449	3.1	-	-
その他	3,149	21.4	-	-
うち繰入金	222	1.5	-	-
<b>歳出</b>	14,241	-	230	1.6
義務的経費	6,229	43.7	△ 84	△ 1.3
人件費	2,641	18.5	△ 44	△ 1.6
扶助費	1,892	13.3	1	0.0
公債費	1,695	11.9	△ 41	△ 2.4
投資的経費	1,551	10.9	-	-
普通建設事業費	1,551	10.9	401	34.8
うち補助	415	2.9	△ 27	△ 6.0
うち単独	1,077	7.6	424	65.0
その他の経費	6,462	45.4	-	-
うち繰出金	1,553	10.9	-	-

③主要指標(平成20年度)

<健全化判断基準>

実質赤字比率	- % ( 13.32 )
連結実質赤字比率	- % ( 18.32 )
実質公債費比率	18.5 % (25.0) [12.8]
将来負担比率	128.3 % (350.0) [95.7]

<普通会計に関する主な指標>

財政力指数(H19~21)	0.651 [0.786]
経常収支比率	94.8 % [90.8]
標準財政規模(H21年度)	10,190 百万円 [13,853]
地方債現在高(A)	15,302 百万円 [21,590]
債務負担行為支出予定額(B)	1,861 百万円 [2,833]
積立金現在高(C)	2,048 百万円 [4,425]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	15,115 百万円 [19,998]

※( )は早期健全化基準, [ ]は県平均値

④市町村税の状況(平成20年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税・個人(構成比)	2,176,919 ( 36.1 )	1,929,106 ( 35.5 )	88.6
市町村民税・法人(構成比)	486,307 ( 8.1 )	475,743 ( 8.8 )	97.8
固定資産税(構成比)	2,945,122 ( 48.8 )	2,613,814 ( 48.1 )	88.8
市町村税合計(国保除く)	6,038,039	5,429,869	89.9

<公共施設整備状況>(平成20年度)

小学校	10 校	プール	0 か所
中学校	3 校	児童館	0 か所
幼稚園	9 園	老人福祉施設	2 か所
保育所	6 か所	病院・診療所	43 か所
図書館	1 か所	道路改良率	32.64 %
公営住宅	160 戸	道路舗装率	65.72 %
公民館等	4 か所	上水道等普及率	88.65 %
体育館	3 か所	排水等処理率	51.13 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
南原・平川戸線道路整備事業	H19~H27	国道294号線から主要地方道結城下妻線を連絡する都市計画道路の一部区間の道路整備	3,390
東部中学校建設事業	H18~H24	現在とは別の場所に約5万㎡の用地を確保し、現在の施設と同規模の校舎及び付帯施設を建築する。	3,200
むらづくり交付金事業	H20~H25	下妻南部地区における農道・農業用排水施設・農業集落道・農業集落排水施設の総合的整備事業	31

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・行財政改革の推進及び財政基盤の強化
- ・中心市街地の活性化
- ・優良企業の誘致
- ・少子高齢化に対応した福祉制度の充実
- ・下妻市次世代育成支援行動計画の推進
- ・地域住民との協働による魅力あるまちづくりの推進

<特色ある行政等>

- ・アダプト・プログラム事業の実施
- ・市民との協働による花のまちづくり
- ・ピアスパークしもつま、道の駅しもつま、やすらぎの里しもつまの各交流拠点を活かしたまちづくり
- ・乳幼児医療制度費助成制度による無料化の拡大